



こんにちは、校長の内田です。

今年も残すところあとわずかになりました。1年も

あつという間ですね。年々、時のたつスピードが速くなっているような気がします。これは私だけ？きつとそうじゃないですね。他の人に聞いても、10代より20代、20代より30代、30代より40代…が早かったと言います。

それはどうしてでしょうか。考えてみました。



ジャーネーの法則？



ジャーネーの法則は、19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャーネが発案し、甥の心理学者ピエール・ジャーネの著書において紹介された法則です。

「主観的に記憶される年月の長さは年少者により長く、年長者にはより短く感じられる。」という現象を心理学的に説明したもののようです。

例えば、50歳の人にとって1年の長さは人生の50分の1ですが、5歳の人にとっては5分の1に相当します。つまり50歳の人にとっての10年は、5歳の人にとっての1年にあたり、5歳の人にとっての一日は、50歳の人10日にあたるということになります。

簡単にまとめるとジャーネーの法則は「生涯ある時期における時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する(年齢に反比例する)」ということです。なんだかかわかったような、わからないような…

こんな法則があるとは知りませんでした。私は残された時間が少なくなるのに反比例すると思っていました。例えば80年があるとして、5歳の子どもならあと75年もある。60歳の人ならあと20年。これが関係しているんだろうなって漠然と思ってました。



以前、テレビをボーッと見ていたら、それに答えていた番組がありました。某公共放送の「〇〇ちゃんに叱られる」です。「大人になるとあつという間に1年が過ぎるのはなぜ？」というのをやりました。

ある大物ゲストが、その問いに「もうたくさん生きているから、生きることに飽きちゃったのかな？」となかなか説得力のある答えでしたが、〇〇ちゃんに「ボーッと生きてるんじゃないやねえよ！」って思いっきり叱られてました(笑)

〇〇ちゃんへの回答は、「年をとると人生のときめきがなくなるから」だそうです。へえ～、そうだったんだ。解説していた専門家によると「時間の感じ方は心がどれくらい動いているかが重要で、ときめきを普段からどのくらい感じているか」だそうです…。どういうこと？

例えば、ご飯の時に子どもは、「今日のおかずは何かなあ？」とか、「どんな味がするのかなあ？」とか、「おいしいかなあ？」とか、「いい匂いだなあ」とか味覚・嗅覚・視覚などをフルに働かせていろんな発見が起きて心が動くそうです。それに対して大人になると、「いつもの△△か…」で味も理解している

し、においにも慣^なれていて、食^{しょく}事はただの作^{さき}業^{ぎょう}で…。そこには「ときめき」は存在^{そんざい}しません。(私^{わたし}はときめきますが 笑^{わらい})



結局^{けっきょく}、経験^{けいけん}が時間^{じかん}を短^{みじか}く感^{かん}じさせるってことでしょうか？子どもたちはいろんな感情^{かんじょう}を生^うみ出^だしながら生^いきているため、それだけ時間^{じかん}を長^{なが}く感^{かん}じるのかあ～。私^{わたし}もまだまだ好^{こう}奇^き心^{しん}を持^もって行^{こう}動^{どう}しているつもりだけどなあ。ここ数^{すう}年^{ねん}の中^{なか}で今^{ことし}年はとっでもワクワクした1年^{ねん}だったけど、あっという間^まに時間^{じかん}は経^たったし…。来^{らい}年^{ねん}は今^{ことし}年^{ねん}よりもっとワクワクする時間^{じかん}を作^{つく}って、時^{とき}を長^{なが}く感^{かん}じられるようにしようと思^{おも}います。

最後^{さいご}に、今^{ことし}年^{ねん}、ありがとうございました。よい生^{せい}徒^とたち、よい先^{せん}生^{せい}たちに恵^{めぐ}まれて、充^{じゅう}実^{じつ}した1年^{ねん}を過^すごすことができました。

公^{こう}私^しともにいろいろあった1年^{ねん}でした。仕^し事^{ごと}で大き^{おお}かったのは4月^{がつ}の転^{てん}勤^{きん}。相^さ模^も向^{こう}陽^{よう}館^{かん}に來^こられて本^{ほん}当^{とう}に良^よかったです。

年^{ねん}末^{まつ}年^{ねん}始^し、大^{おお}掃^{そう}除^じをしながらゆっくりと今^{ことし}年^{ねん}の反^{はん}省^{せい}と来^{らい}年^{ねん}の計^{けい}画^{かく}を立^たてていきたいと思^{おも}っています。

それではみなさん、よいお年^{とし}をお迎^{むか}えください。

今^{ことし}年はここのまでです。(了^{りょう})

感謝

